

附属札幌中学校「学校だより」

藤 房

北海道教育大学
附属札幌中学校

令和6年11月29日発行

No.9

合唱に取り組むということ

生徒会担当 田口 祐弥

体育館いっぱいにハーモニーが響いた合唱祭当日、これぞまさに芸術の秋と感じたのも束の間、窓から見える山々も冬の装いを見せる頃となりました。保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のことと心よりお喜び申し上げます。

さて、第11回合唱祭で、皆様とともに素晴らしい時間を共有できましたことを、心より感謝申し上げます。ご多用の折、足をお運びいただき、また日頃より子どもたちを支え、応援してくださり、誠にありがとうございます。当日は、生徒たちの立ち居振る舞いを目にし、指揮者の語り、各学級の歌声を耳にしたとき、多くの方々の心を打ったことと思います。また、歌い終えた後の生徒たちの達成感やあふれる表情、互いに拍手を送り合う姿も、私たちにとって大きな感動を与えてくれたと思います。

合唱祭を振り返ると、「合唱には人を感動させる力がある」ということを再認識しました。合唱は、多くの人の声が合わさることで素敵なハーモニーが生まれます。その背後には、生徒一人一人が、「聴く人が感動するような合唱を歌いたい」「学級で素晴らしいハーモニーを創り上げたい」などの目標を抱き、様々な思いや苦労を乗り越えてきた日々があります。歌声をそろえるための練習、歌詞に込められた思いを深く考える時間、そして仲間と協力する中で生まれる工夫。そのすべてが合わさることで、聴く人の心に深い感動を与えるのだと思います。

特に、合唱リーダーとして学級をまとめる役割を担った生徒たちは、活動を引っ張ることの難しさを肌で感じながらも、仲間の支えの大切さを実感したことでしょう。人の前に立つ大変さと、その中で周囲から応援されるありがたさを知った経験は、今後の日常生活で仲間を支え、互いを尊重する姿勢につながっていくと思います。

また、自分の役割を果たしながら、学級全体のバランスを考える生徒たちの姿も印象的でした。歌うことが得意でなくても、大きな声で歌うことに挑戦したり、音程や歌詞に注意を払い続けたりした生徒もいました。自分ができることを見付け、仲間とともに目標を達成するという貴重な体験は、今後の生活でチームに貢献し、自信を確かなものにする姿につながっていくと思います。

このように、合唱祭は、単に歌を披露する場ではなく、生徒一人一人が自分の役割や強みを見付け、それを生かして学級全体の力を高める場でもあります。練習を通して、自分や周囲のことを深く考える時間をもつことで、生徒たちは、自分の成長を感じるとともに、仲間との絆をより強く感じられたのではないのでしょうか。合唱祭で培った自分や学級への誇りと自信を胸に、今後も集団の中で輝ける力



を育ててほしいと思います。このような経験を積むことで、もっと仲間を大切に、周囲からも応援される人間へと成長していくことを、心から願っています。

最後になりましたが、保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。これからも、子どもたちの成長をあたたく見守り、共に支えていただければ幸いと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。



■PTA 常務委員会の活動から

10月にはPTA文化委員の皆様のご企画によるPTA文化講演会が開催されました。春先から文化委員の皆様が御準備くださいましたが、当日は多くの保護者の方に御参加いただき、大変活気あふれる様子でした。また、PTA広報委員の皆様にご作成いただいた「PTA広報だより」が発行されました。紙面のデザインや生徒の様子の撮影のために、何度も来ていただきました。来校両常務委員の皆様、紙面を借りて心より感謝申し上げます。今号では、PTA文化委員長の畠山賀奈子様と、PTA広報委員長吉田百子様からいただいた、行事を終えての御感想を紹介させていただきます。

「PTA 文化講演会」を終えて

PTA 文化委員長 畠山 賀奈子

日頃より文化委員会の活動に御理解と御協力をいただきまして、ありがとうございます。

文化委員会では、10月17日の文化講演会のために、企画・準備・運営をいたしました。今年度は附属札幌小学校の元教員で、現在は起業家として御活躍されている瀧ヶ平悠史氏を講師に迎え「新しい時代を生きる子どもたちのために、今、私たち（親）にできることは何か」というテーマで御講演していただきました。



私たち親世代とはまったく違う時代を生きる子どもたちに、今どんなことを大切にして教育環境を整えるか、

良い教育とは?などのお話や、授業の疑似体験のような参加型で算数ゲームをしたり、講師からの出題に真剣に取り組んだり、終始和やかな講演会となりました。改めて子育てについて見つめ直す良い機会となりましたら嬉しく思います。

御参加いただきました保護者の皆様、御協力いただきました文化委員の皆様へ心より感謝申し上げます。



繋がるしあわせ

P T A 広報委員 吉田 百子

日頃より広報活動に御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

附属札幌中学校に関わる方々が、温かみのある生きた情報を得ることができるよう、また、大切な存在である子どもを真ん中にした「共創の学校」の理念のもと、広報委員一人ひとりが、今できる最善を尽くして、協調し、補い合い、想像力を発揮しながら活動しております。今年度からGoogleドライブを導入し、編集、校正など作業するタイミングを個々の都合に合わせて出来るようになったことで、活動の幅に広がりが見られています。



取材時に、何十回、何百回とシャッターを切り、撮影させていただいておりますが、やはり、その瞬間、目に映る姿に勝るものはありません。子どもたちの生き生きした笑顔や真剣な表情、先生方の温かな眼差しなど、ありのままの豊かな姿を特等席で拝見できるのは、広報委員の特権と感じております。このような貴重な機会をいただきまして、広報委員一同、この場をお借りして心より御礼申し上げます。そして、附属札幌中学校で繋がるみなさまと広報誌を通して思い出を共有できる幸せを感じております。

引き続き、広報活動に御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

■学校評価アンケートへの御協力ありがとうございました。

過日、実施しました学校評価アンケートへの御協力ありがとうございました。結果を集計したところ、今年度も全ての項目で9割以上の肯定的な評価をいただきました。子どもたちに実施したアンケートの結果もほぼ同様でした。保護者の皆様からいただいた肯定的な評価のうち、1(とくにそう思う)を選択いただいた割合が80%前後になったアンケート項目は以下の通りです。なお、1(とくにそう思う)、2(そう思う)、3(そう思わない)、4(まったくそう思わない)の意味になります。

- ② 附属中に通わせてよかったと思う。(1:80% 2:15.9%)
- ③ 附属中の行事は子どもたちが生き生きと活動するように工夫されている。(1:79.4% 2:17.1%)
- ⑦ 附属中の授業は教師がいっばうてきに教え込むのではなく、学び合いを大切にしている。(1:79.4% 2:17.6%)
- ⑩ 道徳の授業は大切だと思う。(1:81.8% 2:15.9%)

また、1(とくにそう思う)の割合がやや低かったアンケート項目は以下の通りです。

- ④ 附属中の様子は各種たよりやホームページなどで知ることができる。(1:60.6% 2:34.7%)
- ③ 自分の子どもは主体的に活動していると思う。(1:52.4% 2:38.2%)
- ⑩ 自分の子どもは、社会のルールや学校の決まりを守っている。(1:67.6% 2:26.5%)
- ⑨ 教育実習は、子どもに負担になっていると思う。(4:66.5% 3:17.1%)

※ ⑨は4(負担になっているとは全く思わない)、3(負担になっているとは思わない)の意味になります。

また、いただいた主なご意見・ご要望を紹介いたします。

【評価できるポイント】

- ・プレゼンの機会が多く、意見を否定しないこと。
- ・保護者が学校に足を運ぶ機会が多いこと。
- ・将来役立つ交流・経験をすることができる。
- ・授業や行事で子どもが自主的に考え行動することができる。
- ・欠席した場合でもオンライン授業をやってもらえるところ。
- ・日々の声かけや総合のアポ取りなどを熱心に行っているところ。

【改善を要すると思われるポイント】

- ・部活動の実施の有無や時間をテトル等で周知してほしい。
- ・学校内での状況が分かりにくいところがある。
- ・酷暑の中では生徒の安全を第一に考え、臨機応変な対応をしてほしい。
- ・行事の日程や時程の詳細はもう少し早めに教えてほしい。
- ・大学との連携を深め、大学からの授業参加や体験の充実などをしてほしい。

「評価できるポイント」としては、授業や行事での子どもの自主性を尊重した活動や、オンライン授業の取組等に対する高い評価を多くいただきました。また、保護者の方に来校いただく機会が多いことについても高い評価をいただきました。今年度は年度のスタートからコロナによる影響のない年度でした。各種行事はもちろんですが、授業参観、学年・学級PTA懇談会でも全学年一斉に保護者の方に御参加いただけるようになりました。本校は伝統的に、「子どもの『学び』」には、生徒はもちろんのこと、教師、保護者、地域・社会の人々が有機的につながり、「子どもの学びの姿」を中心に互いに学び合い、高まり合っていくという「共創の学校」の理念を大切にしています。今後も保護者の皆様との連携を深めながら、よりよい教育活動を目指してまいります。

「改善を要すると思われるポイント」としては、学校での活動の様子や予定を早く教えてほしいなどの御意見をいただきました。日程等についての御連絡は、今後も可能な限り早めにお伝えできるように検討してまいります。また、酷暑の時期の柔軟な対応や大学との連携の充実といった視点での御意見もいただきました。

その他のいただいたご意見につきましても真摯に受け止め、学校改善につなげていきたいと考えております。今後も附属札幌中学校がより魅力ある学校になるよう尽力して参りますので、御理解と御協力の程、よろしくお願い申し上げます。

■第1・2学年・授業参観・学年・学級PTA懇談会が行われました。

11月22日(金)に第1学年、第2学年の授業参観と学年・学級PTA懇談会が行われました。授業参観では、多くの方に学校に足を運んでいただき、お子様の授業に向かう様子を見ていただきました。また、学年PTA懇談会では、藤華祭や合唱祭などの取組の様子や日々の学校生活、学習や進路についてお伝えさせていただきました。なお、tetoruでも御案内しましたが、学年懇談会の様子を動画で配信しております。ぜひ御視聴ください。

■第3学年「みんなのアトリエ」～総合的な学習の時間

第3学年の総合的な学習の時間「リレート」では、SDGsの視点から「現代の社会問題」について各自が課題を立て、アンケート調査や施設訪問などの調査活動を行い、課題解決の方法を探ってきました。11月23日（土）に行われた「みんなのアトリエ」では、各教室に分かれてその探究の成果を保護者の方に伝え、様々な意見をいただきました。生徒は、改めて自分の課題と向き、深く考える機会となったようです。休日にもかかわらず、多くの方に御参加いただき、生徒一人一人の一年間の探究に向けて貴重な御意見をくださり、心より感謝申し上げます。



12月の行事予定

日(曜日)	行事等の予定	下校バス時刻(予定)
1(日)	部活動不可	
2(月)	スポーツフェスティバル(3年)	16:20
3(火)	スポーツフェスティバル(2年)	16:20
4(水)	スポーツフェスティバル(1年)	16:20
5(木)		16:20
6(金)	3時間後給食/冬の大掃除/2学年会場設営	【1・3年】13:20 【2年】14:50
7(土)	入学者選考1日目/部活動不可	
8(日)	入学者選考2日目/部活動不可	
9(月)	入学者選考に関わる休業日/部活動不可	
10(火)	入学者選考に関わる休業日/部活動不可	
11(水)	【研究日】/D組給食交流	16:20
12(木)		16:20
13(金)		16:20
14(土)	部活動不可	
15(日)	部活動不可	
16(月)		16:20
17(火)	非行防止教室	16:20
18(水)	【研究日】/D組給食交流	16:20
19(木)		16:20
20(金)	冬季休業前集会/3年後期期末テスト範囲表配付/学びのシラバス記入	15:20
21(土)	冬季休業日(~1/9)	
22(日)		
23(月)	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> 12月は、本校の入学者選考があるため、部活動はありません。 また、冬季休業期間中も部活動はありません。1月の部活動の 予定は、12月中旬に掲載いたします。ご確認ください。 </div>	
24(火)		
25(水)		
26(木)		
27(金)		
28(土)		
29(日)	学校閉庁日(~1/3)	

